

昨年十二月に実施した学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。主な内容について、結果をご報告いたします。

●学習指導について

【(表1)の結果参照】

「授業の内容が理解できていますか」の質問に対しては、できていますと答えた生徒の割合が、昨年度よりも増えました。反面、「授業に積極的に取り組み、自分の意見をすすんで発表していますか」の質問に対しては、できていますと答えた生徒の割合が減り、約半数の生徒ができていないと答えました。その他の質問を見ても、生徒の学習に対する自主性・主体性が育っていないことが課題だと考えられます。学習主体である生徒自身がやる気をもって学習に臨まなければ、学習効果も低減してしまいます。生徒たちが、もっと「学びたい」「わかりたい」と感じられるような働きかけや学習課題の設定、授業の工夫が必要だと考えます。職員も研鑽に励みますので、ご家庭でもお子さんの努力を褒め、励ましていただきたく思います。タブレットの活用は、昨年度よりも幅が広がり、使用頻度も多くなってきました。タブレットを有効な学習ツールとして活用することも考え、自ら学ぶ生徒の育成に力を注いでいきたいと思います。

●三本柱について

【(表2)の結果参照】

「歌声」「あいさつ」「そうじ」のすべてについて、九割以上の生徒はしっかりとできていますと答えています。それに対し、三割近い職員は「あいさつ」「そうじ」ができていないと答えています。三本柱は南陽中学校が以前から大切にしている、伝統であり、生徒の誇りでもあります。生徒、職員、保護者の三者が、さらに言えば、地域の方も含めた四者が「よくできています」と

(表1)学習指導について

生徒	授業の内容が理解できていますか。	83%	79%
職員	授業の内容を理解できるような工夫や支援をしていますか。	92%	93%
生徒	わからないことやできないことがあったら先生に質問しますか。	62%	61%
職員	生徒は、気軽に質問にきますか。	78%	88%
生徒	家庭学習の習慣を身につけ、提出物を出していますか。	78%	79%
保護者	家庭学習の習慣が身につけ、提出物を出していると思いますか。	68%	69%
職員	家庭学習の習慣を身につけ、提出物を出せるように指導していますか。	84%	69%
生徒	授業に積極的に取り組み、自分の意見をすすんで発表していますか。	54%	59%
保護者	お子さんは、すすんで学習し、意見を発表できていると思いますか。	57%	58%
職員	主体的に学習活動したり、意見をすすんで発表したりする授業を意図的に仕組んでいますか。	92%	76%
生徒	学習にタブレットを活用できていますか。	77%	59%
保護者	お子さんは、学習にタブレットを活用できていると思いますか。	62%	48%
職員	生徒は、学習にタブレットを活用できていますか。	84%	67%

(表2)三本柱について

生徒	「歌声の南陽」を意識して合唱コンに臨み、精一杯歌いましたか。	94%	89%
保護者	お子さんは、「歌声の南陽」を意識して合唱コンに臨み、精一杯歌っていたと思いますか。	92%	90%
職員	生徒は、「歌声の南陽」を意識して、合唱コンに臨んでいたと思いますか。	92%	71%
生徒	先生、来客、友達にしっかりとあいさつができていますか。	92%	92%
保護者	先生、来客、友達にしっかりとあいさつができていますか。	88%	84%
職員	生徒は、先生、来客、友達にしっかりとあいさつができていますか。	70%	64%
生徒	「そうじの南陽」を意識して、しっかりそうじができていますか。	92%	92%
職員	生徒は、「そうじの南陽」を意識して、しっかりそうじができていますか。	76%	67%

(表3)自己理解・他者理解について

生徒	学校生活の中で自分のよさを生かして力を発揮できていますか。	81%	74%
保護者	お子さんは、よさを生かして自分の力を発揮できていると思いますか。	80%	72%
職員	生徒が学校生活の中で自分のよさに気づき、力を発揮することができるような指導助言を心がけていますか。	92%	88%
生徒	学級の活動や委員会の活動に積極的に参加していますか。	88%	86%
保護者	お子さんは、学級の活動や委員会に積極的に参加していると思いますか。	83%	80%
職員	学級の活動や委員会活動に積極的に参加するよう、指導助言をしていますか。	100%	79%
生徒	仲間や自分に関わる人たちに感謝の気持ちをもって生活していますか。	96%	95%
保護者	自分に関わる人たちに感謝の気持ちをもって生活していると思いますか。	89%	85%
職員	同僚の人たちに感謝の気持ちをもって生活する指導を心がけていますか。	97%	95%

(表4)健康・安全について

生徒	朝食をしっかりとっていますか。	88%	87%
保護者	お子さんは、朝食をしっかりとっていますか。	84%	85%
生徒	スマートフォンなどの使い方を考え、睡眠時間を確保できていますか。	78%	81%
保護者	お子さんはスマートフォンなどの使い方を考え、睡眠時間を確保できていると思いますか。	53%	52%
生徒	交通ルールを守って歩いたり、自転車に乗ったりしていますか。	96%	95%
保護者	お子さんは、交通ルールを守って歩いたり、自転車に乗ったりしていると思いますか。	93%	92%
職員	生徒は交通ルールを守って歩いたり、自転車に乗ったりしていると思いますか。	81%	71%

言えるようになるまで、継続して重点的に取り組む必要があると考えています。「あいさつの南陽」「歌声の南陽」「そうじの南陽」を南陽中学校のプラウドとして、今まで以上にしっかりと取り組むように、職員と生徒で力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

●自己理解・他者理解について

【(表3)の結果参照】

「学校生活の中で自分のよさを生かして力を発揮できていますか」の質問に対し、できていますと答えた生徒の割合が大きく増えました。昨年度から月一回「よいところ探し週間」を設定し、友達の良いところを目を向ける活動を行ってきました。同時に、職員が見つけた生徒のよいところを伝える活動も行ってきました。それにより、生徒がお互いのよさに目を向けられるように

なり、自分のよさにも気づききっかけとなったことが結果に表れたと考えられます。また、学級での役割に対して積極的に取り組めるようになったことにもつながっていると思えます。自己肯定感を高めることは、積極性や主体性の育成にもつながっていくので、今後も、生徒がよさを認め合う活動、生徒のよさを伸ばす活動を継続して行っていきたいと思います。

●健康・安全について

【(表4)の結果参照】

「スマートフォンなどの使い方を考え、睡眠時間を確保できていますか」の質問に対しては、できていますと答えた生徒の割合が減りました。今年度は、学校保健委員会でもテーマとして取り上げ、スマートフォンなどの使用時間と睡眠時間について考える場面も設けま

したが、保護者の方の数値からもわかるように、生徒の生活の改善にまでは至らなかったようです。スマートフォンを持つ生徒の割合は年々増加しており、今や中学生の生活の一部となっている現状があります。大変便利な機器ですが、使い方をまちがえれば、大きな問題につながったり、健康被害をもたらしたりする可能性もあります。スマートフォンをどのように使用すべきか、何に気をつければいいのか、しっかりと考える機会を確保していく必要があります。学校でも機会を作り、スマートフォンやSNSの利用の仕方について考えられるようにしていきます。ご家庭でも約束事を決めたり、お子さんの利用状況を確認したりするなどして、問題に巻き込まれないよう注意していただければと思います。